

「福井元気宣言」推進に関する政策合意

私は、知事の政策スタッフとして、「福井元気宣言」に掲げられた「元気な産業」、「元気な社会」、「元気な県土」、「元気な県政」の4つのビジョンを着実に実現していくため、県民の理解と参加を得ながら、責任を持って職務を遂行し、特に、今年度は、次に掲げる施策・事業について重点的に取り組むことを西川一誠知事と合意します。

平成16年4月

福井県知事 西川 一 誠

産業労働部長 横 田 満

基本姿勢

- ・ 景気回復の兆しが見える中で、平成15年末策定の「経済社会活性化プラン」を迅速に実現することにより、一日も早い景気の本格的な回復や雇用の確保につなげます。
- ・ 産業の活力や働く場がなければ「福井の元気」はありえないとの基本的な考え方に基づいて、県内の隅々で「元気な産業」が実感できるよう積極的に施策を推進します。
- ・ 勤勉で働き者といわれる本県の県民性や、長い歴史の中で培われた技術など本県が有している潜在力を十分活かしていきます。
- ・ 「県民や県内の経済界、労働界が何を求めているかを知る」ことを基本として、「買っていただける施策」を積極的に展開します。
- ・ こうした考え方で、15,000人の雇用創出、新しい技術開発による産業の高付加価値化、やる気のある企業や創業に対する強力なバックアップ、新たな販路開拓、観光の振興、さらに、積極的な企業誘致および敦賀港・福井港のポートセールスの推進などに積極果敢に取り組めます。

取組項目

○重点項目

1 15,000人の雇用創出

- ・ 「雇用創出プラン」に掲げた施策の雇用創出成果を検証し、目標達成に向け、他部局と連携して速やかに対応します。

- ・ 若者就職支援センター（ジョブカフェ）を5月に開設し、「みんなに仕事を」を合い言葉に、県内の経済界や公共職業安定所と一体となって、職業教育から就職支援、就業定着まで一貫した若者の就職支援を行います。

〔 就職人数 60人 〕

- ・ 求人と求職がかみ合わない状態（雇用のミスマッチ）を解消するため、講義と企業実習が一体となった職業訓練（デュアルシステム）の導入や、中高年の失業者の意識啓発に主眼をおいたセミナーを新たに開催します。

〔 ・デュアルシステムによる訓練受講者の7割就職
・セミナー参加者 500人 〕

- ・ 緊急地域雇用創出特別基金事業により、緊急かつ臨時的な雇用を創出するとともに、創出された雇用の定着化を図ります。

〔 基金事業による雇用創出人数 1,400人
基金事業の雇用期間終了後の継続雇用人数 30人 〕

2 産力強化

- ・ 知事をトップに県内の企業、大学、産業支援機関などの代表者による「福井県産力戦略本部」を5月に創設し、年度内に「最先端技術のメッカづくり」のための基本戦略を構築することにより、産学官が一体となって先端技術開発をさらに推進します。

- ・ 産業競争力を強化するため、本県固有の技術やノウハウなど、「ものづくり」において重要である知的財産の創造・保護・活用を促進する「福井県知的財産活用プログラム」を年度内に策定します。

3 積極的な企業誘致活動の展開

- ・ 「アタック500」をスローガンに「福井の営業マン」としての気概を持ち、先端技術産業や雇用吸収力の高いコールセンターなどの誘致に総力を挙げて取り組みます。

・ 企業訪問	延べ500社
・ 企業立地件数	13社

○ 個別項目

1 新しい技術開発による産業の高付加価値化

- ・ 産学官共同研究に対する支援を充実し、さらに多くの県内企業の参加を促進します。

産学官共同研究に参加する企業数	34社
-----------------	-----

- ・ 繊維や金属加工など本県が比較優位を有する技術をもとに、先端技術開発を行います。また、県が開発した最先端技術の企業への移転を促進します。

・ 特許出願件数	8件
・ 研究成果の企業への移転	5件

2 やる気のある企業や創業に対する強力なバックアップ

- ・ (財)福井県産業支援センターに、民間企業で豊富な実務経験を持ち、企業経営に精通したプロジェクトマネージャーを公募により設置します。また、商工会議所との連携強化、女性の企業家が相談しやすい環境の整備に取り組むなど、「5000の新規創業」達成に向けた支援体制を整えます。

・ (財)福井県産業支援センターの支援による新規創業	50社
・ 商工会議所等民間の支援による新規創業	150社
・ 女性企業家異業種交流会の充実	

- ・ 無担保、第三者保証人不要で最高1億円を融資する開業特別支援資金などを活用し、県内外の意欲ある人材による創業を強力に支援します。

・ 開業特別支援資金による新規創業	80社
・ 意欲ある企業支援資金による新たな事業展開(第二創業)	30社

- ・ 平成17年4月からの(財)福井県産業支援センター、(財)福井県デザインセンター、(財)福井県中小企業産業大学の統合に向けて取り組みます。

- ・ 産学官連携による福井発の独自ソフトウェア開発など、雇用の拡大が見込まれるＩＴ関連産業を育成します。

〔 ・ 福井発独自ソフトウェア開発に向けた企業・大学の共同研究 １０件 〕

- ・ 県内外の先進的なサービス業の成功事例に関する情報提供や、地域助け合いビジネスの起業化支援、商業・サービス業を担う人材の育成などを通じてサービス産業の活性化を図ります。

〔 ・ ホームページで先進的サービス業成功事例の情報提供
（６月から開始 以後毎月事例追加）
・ 先進的サービス業成功事例集作成（３月）
・ 地域助け合いビジネスに取り組む事業者 ５社
・ 人材育成セミナー参加者の７割が個店改善 〕

- ・ 首都圏での県産品の販路を拡大するため、「南青山２９１」の展示販売機能を拡充します。また、東京・大阪圏での県内企業の取引先拡大を支援します。

〔 ・ 南青山２９１の来館者数および売上額 前年度比５％増
・ 東京・大阪圏などでの取引あっせん成立件数 ４０件 〕

３ 新たな販路開拓

- ・ 平成１６年３月に策定した「東アジア・マーケット開拓戦略プラン」に基づき、本県企業の海外での展示商談会への出展等を支援します。

〔 ・ 東アジアでの県内企業の商談件数 ４００件
・ 出展補助展示会での成約件数 ５０件 〕

４ 活かそう熟年パワー

- ・ 熟年者が働く場や活躍の場が得られるよう人材情報等に関するホームページを９月までに立ち上げるなど、県民の方に広く熟年者の情報を提供し、熟年者の知恵と経験の活用を促進します。

５ 敦賀港、福井港のポートセールスの推進

- ・ 企業誘致や貿易振興と連携したポートセールスを推進し、敦賀港および福井港の利用企業数、取扱貨物量の増加に取り組みます。

- ・企業訪問 延べ200社
- ・敦賀港 コンテナ貨物の利用企業数および取扱貨物量 前年比5%増
- ・福井港 関税法上の開港のための要件である外航船50隻入港達成

6 まちづくり

- ・ 商業基盤施設の整備、1店1品運動の展開、TMOが行う空き店舗を利用したチャレンジショップの設置・運営などを支援します。

- ・ 福井駅前電車通り、北通りのアーケード整備
- ・ 1店1品運動研究会参加者の7割が運動実践
- ・ チャレンジショップ 5店舗

7 観光の振興

- ・ 「ふくいブランド」戦略との整合性を図りながら、民間事業者を積極的に活用した観光振興策を実施します。

- ・ 旅行エージェントやJR西日本等と連携して、本県の豊かな食材、歴史、自然など観光資源を活かした滞在型の新たな旅行商品を企画し、観光客誘致に直接つなげます。

- ・ 新たに県内へ誘致する観光客数 45,000人

- ・ 大都市圏等で観光商談会を開催し、やる気のある観光事業者の新たな販路開拓を積極的に支援します。また、商談会参加者へのフォローアップを強化します。

- ・ 県内からの参加事業者数 200社
- ・ 成約件数 25件

- ・ (財)芦原観光会館の年度内の廃止に向けて取り組みます。

8 サンドーム福井の利活用

- ・ 県民がより利用しやすい県有施設として、「サンドーム福井」の設置目的のあり方や具体的利活用方策等を検討し、実施可能なものから具体化に取り組みます。